

## ERIC 通信

第 10 号

2001 年 6 月 10 日発行

## ERIC 国際理解教育センター

International Education Resource&Innovation Center  
〒114-0013 東京都北区東田端 1-14-1 岩瀬ビル  
総合案内 03-3800-9414 FAX 03-3800-9410  
eric-net@try-net.or.jp

3 月にホームページを更新し、発行図書、レッスン・バンク、研修予定などの情報を充実させ、ERIC の活動が解りやすくなりました。それにともない、従来の一方向的な情報提供や研修参加・資料室訪問の機会では十分に果たせなかった、よりダイナミックなコミュニケーション方法を構築中です。皆さんの参加で、データーを共有したり、同時に情報交換・研究の推進が出来ることを目指しています。

## ERIC の活動とコミュニケーション

## ERIC 通信 購読者 3,700 人

3 月・6 月・9 月・12 月 年 4 回発行

研修・活動予定・新規発行書籍などの詳細情報  
対象＝有料購読申込者・書籍購入者・研修参加者など

ERIC Official  
Homepage

<http://www.try-net.or.jp/%7ERIC-net/index.html>

ERIC の組織・活動  
研修・出版書籍情報全般の情報提供  
対象＝全ての人

## (仮)ERIC LABO

(会員制)  
データファイル共有・共同作業  
掲示板・チャット  
対象＝登録認証を受けた  
ERIC サポーター

## ERIC

## メーリング・リスト

(会員制)  
テーマ・研究の情報交換  
対象＝登録認証を受けた  
ERIC サポーター

## ERIC NEWS

メールマガジン

購読者 700 人

随時発行

最新ニュース

対象＝全ての購読申込者

ERIC  
COMMUNITY

<http://chance.gaiax.com/home/haruonaoi/main>

掲示板・チャット・リンクなど  
対象＝全ての人

■ は相互コミュニケーションが可能  
(現在構築中)

プライバシー保護・課題の共通性を維持するため、参加は登録制を予定(詳細はメールでお問い合わせください)

- \* メールマガジン購読はホームページより、自動で登録/削除できます。(最新情報をリアルタイムで配信)
- \* 「ERIC の本」・「ERIC の研修」・ERIC の活動概要・LessonBank バックナンバーなどの小冊子・パンフレットも印刷物でご利用いただけます。
- \* プログラム会員・テキスト会員の方には、「ERIC 通信」を 1 年間無料で送付いたします。それ以降(以外)の購読ご希望は、年間(4 回分)1,000 円の実費を右記口座にお振り込みください。郵便振替 00180-5-710744 口座 ERIC 事務局

## <ERIC の活動内容紹介>

～本年度も参加型手法を通して、よりよい社会への構築に向けて、活動を行っていきます～

### 国際理解教育指導者育成

#### 対象者

- ・小中高養護学校教員
- ・行政職員
- ・国際交流団体職員
- ・NGO・NPO 職員
- ・PTA
- ・一般
- ・その他

#### 分野

- ・人権教育
- ・環境教育
- ・木と学ぼう(PLT)
- ・対立
- ・ジェンダー
- ・国際理解教育

#### 方法

- 受託研修：行政、団体、企業、その他より依頼を受け、研修講師を派遣
- 主催研修：ERIC が研修を主催し、ファシリテーターを育成
- テキスト普及：テキストを学校教員中心に普及
- レッスン・バンク：主に教員に対して学校ですぐ使えるアクティビティを提供
- プロジェクト
  - 足立区 — 住民参加で考える公園づくり
  - 大 学 村 — ポータルサイト「世界はいま」の作成及び  
「地球のみかた」のプログラムによる情報提供
  - ア メ ラ ジ ア ン — 沖縄にあるアメラジアン・スクールにおいて、人権教育・  
多文化教育を取り入れたカリキュラムを開発
  - 竹 台 高 校 — 都立竹台高校 2 年生の選択科目「国際理解」を担当
  - アクティビティ事典 — ERIC のもっているアクティビティをまとめて、  
CD-ROM を作成

参加型手法を学校組織づくりに活かす  
参加型手法を地域づくりに活かす

# ＜ERIC の活動における3つの柱＞

## カリキュラム開発

～学習課程をつくる～

プログラムを組み合わせ  
て連続的に、かつ段階を持  
って学習する課程。

- 竹台高校  
年間を通して、選択科目「国際理解」の  
カリキュラムを開発
- アメラジアン  
学校における国際理解の枠組・多文化  
理解を取り入れた国際理解という側面  
からのカリキュラムを開発
- その他  
ERIC のもっているアクティビティ・プロ  
グラムを使ってカリキュラムを開発

## プログラム開発

～アクティビティを組み合わせた  
ストーリーをつくる～

ワークショップ全体としてのねらいや目的を  
考えながら、アクティビティ自体の素材が持  
つ特性を生かして一つの流れにそって構成さ  
れたユニット。

- 受託研修  
行政・団体・企業等の研修を担当し  
た講師が研修プログラムを作成
- 主催研修  
ERIC が研修を主催し、その研修  
プログラムを作成
- 大学村  
「地球のみかた」(人口、飢え、資  
源、エネルギー、ジェンダーの分野)  
のプログラムを開発

## アクティビティ開発

～概念を伝えるための手法として  
参加者が体験できる活動をつくる～

一つの素材、一つの話し合いの材料を使ったまとまりの  
ある活動のことで、プログラムを構成する  
一つひとつの部品。

- レッスン・バンク  
ERIC のオリジナル・アクティ  
ビティを中心に学校ですぐ使  
えるアクティビティを作成
- テキスト開発  
海外の教材の翻訳から  
ERIC のオリジナルのものま  
で、様々なアクティビティを盛  
り込んだテキストを作成

## 新刊書籍のご案内

**アクティビティ事典 2000**(CD-ROM 版:詳しくは同封の資料をご覧ください)

学校での総合学習の時間に、環境・人権・コミュニケーションなどを学ぶ社会人の研修・学習会に役立つ「参加型学習方法」のデータベース。初年度版では、2000年度までに出された ERIC 内外の書籍・出版物から、およそ 2000 件のアクティビティの概念を紹介しています。

価格 10,000 円(消費税込み)

*Let's Communicate!*

レッスン・バンクで好評の「レッツ・コミュニケーション」わたし編・あなた編に、みんな編を加えた完成版。ERIC がこれまで紹介してきたアクティビティを一人ででもできるものとして工夫なおし、「自ら問い、自ら考える」ための、「地球に生きる自分を見つめるワークブック」にしました。コミュニケーションが苦手な高校生・自分が見えないと感じる高校生・人間関係に悩む高校生たちに送りたいと思います。

価格 2,000 円+消費税 100

### ■ERIC 通信 定期購読のお知らせ

ERIC 主催研修に参加および書籍を購入された方には、1 年間無料でお送りします。それ以降の購読継続をご希望の場合、年間 ¥1000 の購読料を下記の郵便振替口座にお振込みください。また、ご紹介・お問い合わせいただいた方には、最新号を無料でお送りいたします。購読を継続される場合は、年間 ¥1000 を郵便振替口座にお振込ください。

■ERIC 事務所では第3金曜日午後 6:00~8:00 ERIC 事務所にて運営会議を行っています。運営会議は開かれた会議を目指しており、現在、教育活動や NGO 活動でお困りの方、ERIC にご興味のある方、参加型手法を使って課題を解決したい方などなたでも参加できます。お近くに来られた際などぜひお立ち寄りください。みなさまの参加をお待ちしております。

### ■事務所 活動時間

月、火、木、金曜日 午前 10:00~午後 6:00 です。事務所にご来訪の際はご一報いただくと幸いです。

### ■資料室利用のご案内

ERIC 資料室には、アメリカ、イギリス、カナダ、オーストラリアなどの英文文献 1000 点以上、人権、環境に関する日本語文献が 800 点以上あります。みなさまの研究の一助としてご利用ください。

利用料金:入室料 ¥500(コーヒー付)

### ■ERIC スタッフ募集

ERIC 事務局では、スタッフ、インターン、アルバイト、ボランティア、ファシリテーター、書籍販売のプロモーションと様々な形での ERIC に関わってくださる方を募集しております。ERIC とともに 21 世紀の教育をつくっていきませんか?ご関心のある方はお気軽にお問い合わせください。

■書籍購入・研修参加(ERIC 通信購読料)費用は下記の口座に振込をお願いします。

書籍専用	:郵便振替 00160-3-547794 口座名称 ERIC
研修参加費・ERIC 通信購読料	:郵便振替 00180-5-710744 口座名称 ERIC 事務局

### <お知らせ>

5月25日の運営委員総会に於き、新組織体制が発足しその名称も変更になりました。

(旧名称) (新名称)

出版部 ⇒ テキスト普及部 :テキスト会員

研修部 ⇒ プログラム提供部 :プログラム会員

研究部 ⇒ リソース開発部

(資料室 ⇒ カリキュラム開発室)

また、個別の運営委員とスタッフが密接に連絡を取り合ってプロジェクトを推進できるよう、パディ・システムを導入し、より充実した活動を目指します。

ERIC 国際理解教育センター

ERIC 通信 第 10 号 年4回発行 発行責任者 角田 尚子

〒114-0013 東京都北区東田端 1-14-1 岩瀬ビル

プログラム提供部 03-3800-9415 テキスト普及部 03-3800-9416

FAX 03-3800-9410/ 03-3800-9414

E-mail:eric-net@try-net.or.jp

ホームページ: <http://www.try-net.or.jp/%7Eeric-net/index.html>